

「大阪・関西万博」 私たちからの環境影響評価準備書（生物多様性編）

第1版【要約】

公益社団法人大阪自然環境保全協会／NPO地域づくり工房

私たちは「市民からの配慮書・方法書」(2019年8月)を公表するとともに、2カ年にわたって現地調査を重ね、その記録「夢洲生きものフォトアルバム」を刊行しています。この調査により、①「生物多様性ホットスポット」としての夢洲の価値を再認識するとともに、②埋立工事等により日々これら生き物の生息環境が脅かされており、③万博会場としての開発は回復不可能なダメージを与える可能性があることがわかりました。特に保全対策の緊急を要するものは以下の通りです。

表：夢洲の重要種¹⁾と開発による影響

id	和名	IUCN	環境省	大阪府	生息環境	埋立	会場整備	備考
1	ツクシガモ		VU		干潟	消失	消失	本州で最多
2	ヨシガモ	NT			池	消失	有り	
3	ホシハジロ	VU			池	消失	有り	ラムサール基準
4	ウミアイサ			NT	沿岸	消失	有り	
5	アマサギ			VU	農地・湿地	有り	有り	
6	チュウサギ		NT		水田・湿地	消失	有り	
7	ヘラサギ		DD		水田・干潟	有り	有り	
8	タゲリ			NT	湿地	消失	消失	
9	ケリ		DD	NT	短茎草地・農地		消失	
10	ムナグロ			VU	水田・干潟	消失	消失	
11	ダイゼン			VU	干潟・湿地	消失	消失	
12	イカルチドリ			VU	砂礫地・干潟		消失	
13	コチドリ			NT	湿地・砂礫地		消失	繁殖
14	シロチドリ		VU	VU	砂礫地・干潟		消失	繁殖
15	メダイチドリ			VU	干潟・湿地	消失	消失	
16	セイタカシギ		VU		干潟・湿地	消失	消失	繁殖
17	タシギ			NT	湿地・水田	消失	消失	
18	オグロシギ	NT		NT	干潟・湿地	消失	消失	
19	オオソリハシシギ	NT	VU	VU	干潟・湿地	消失	消失	
20	チュウシャクシギ			NT	干潟・河川	消失	消失	
21	ホウロクシギ	EN	VU	NT	干潟・湿地	消失	消失	
22	ツルシギ		VU	VU	干潟・湿地	消失	消失	
23	アカアシシギ		VU	NT	干潟・湿地	消失	消失	
24	コアオアシシギ			NT	干潟・湿地	消失	消失	
25	アオアシシギ			VU	干潟・湿地	消失	消失	
26	タカブシギ		VU	VU	干潟・湿地	消失	消失	
27	キアシシギ	NT		NT	干潟・湿地	消失	消失	
28	ソリハシシギ			VU	干潟・湿地	消失	消失	
29	イソシギ			NT	干潟・河川	消失	消失	
30	キョウジョシギ			VU	干潟・湿地	消失	消失	
31	オバシギ	EN		VU	干潟・湿地	消失	消失	
32	ミュビシギ			NT	海岸	消失	消失	
33	トウネン	NT		NT	干潟・湿地	消失	消失	
34	ウズラシギ			VU	水田・海岸	消失	消失	
35	サルハマシギ	NT		NT	干潟・湿地	消失	消失	
36	ハマシギ		NT		水田・海岸	消失	消失	
37	キリアイ			NT	干潟・湿地	消失	消失	
38	エリマキシギ			NT	海岸・湿地	消失	消失	
39	ツバメチドリ		VU	CR+EN	海岸・干潟	消失	消失	
40	オオセグロカモメ		NT		海岸	消失	有り	
41	コアジサシ		VU	CR+EN	砂礫地		消失	繁殖
42	ミサゴ		NT		海岸・河川	消失	消失	

43	チュウヒ		EN	CR+EN	ヨシ原		消失	本州 18 つがい ²⁾
44	オオタカ		NT	NT	森林・農地・市街		有り	
45	ノスリ			NT	農地・水辺		有り	
46	ハヤブサ		VU		崖		有り	
47	ヒバリ			NT	低茎草原		消失	繁殖確実
48	オオヨシキリ			NT	高茎草原		消失	
49	セッカ			NT	高茎草原		消失	繁殖確実
50	カシラダカ	VU		NT	草原・農地		消失	
51	オオジュリン			NT	高茎草原		消失	

植物

1	ハマボウ			EX	海岸		消失	2019 年のみ確認
2	ハマゴウ			VU	海岸		消失	
3	ハマヒルガオ				砂浜		消失	大阪府重要植物 ³⁾
4	ハマボス				海岸		消失	
5	ツルナ				砂浜		消失	大阪府重要植物 ³⁾
6	ホソバハマアカザ			NT	砂浜		消失	
7	ウラギク		NT	NT	塩性湿地		消失	
8	ツツイトモ		VU		池	消失	消失	
9	リュウノヒゲモ		NT		池、河川	消失	消失	大阪府内 2 か所目
10	カワツルモ		NT	EX	汽水	消失	消失	
11	コガマ			NT	池	消失	消失	
12	ヒトモトススキ			VU	海岸		消失	

1) 2019 年 6 月から 2021 年 9 月末までの記録

2) 日本野鳥の会ホームページ参照、3) 生物多様性センター(2005)種の多様性調査(大阪府)報告書

IUCN: 国際自然保護連合、EX 絶滅、CR+EN 絶滅危惧 I 類、EN 絶滅危惧 I B 類、VU 絶滅危惧 II 類、NT 準絶滅危惧
「開発の影響」は単純化して記載しており、人との距離、騒音や照明などの影響については考慮していない。

これら生き物の保全是大阪湾の自然再生にとって必要不可欠なものです。この他、多種多様な生き物を確認しました。生物多様性はSDGs の根幹であり、万博の基本目的「SDGs が達成される社会」に向けて、これら生き物を含む「いのち輝く」万博となるように関係者が力を合わせる必要があります。

私たちは、万博計画のあり方について、以下のように提言します。

- ①回避: 夢洲での開催を中止し、より環境影響の少ない場所及び開催方法(オンライン会場の設定など)を検討すること。埋立工事は一時中断し、保全対策を優先すること。
- ②縮小及び夢洲内での配置変更: ①がどうしても無理な場合は、会場規模を縮小し事業化が見通せていない IR 予定地に変更するなど、影響を最小限に抑えること。
- ③安易な代償措置をとらない: 代替地の確保や移植などは、科学的な根拠に基づき慎重に検討すること。もし、①ではなく、②③で夢洲を会場に万博を開催する場合は、会期終了後における環境に配慮した撤収と自然再生の計画、2030 年を目標とした生態系の多様性確保の目標を策定し、モニタリングを行うこと。

私たちは、調査データの提供、代替案検討への参画、モニタリングにおける協働など「自然環境に配慮した万博」の開催に向けて協力する用意があります。

以上



この調査・提言活動は独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」の助成金を活用しています。調査結果の詳細、予測・評価については(公社)大阪自然環境保全協会にお問合せ下さい。